

# 「田んぼダム」で水害から地域を守りませんか？

## 田んぼダムとは？

田んぼが元々持っている水を貯める機能を利用し、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯めゆっくりと排水することで、農地や市街地の浸水被害を軽減しようという取り組みです。

### Point1

田んぼに降った雨を、排水口を狭くしてゆっくり排水することで、大雨時に雨水が一時的に田んぼ内に貯留され、浸水被害を軽減します。

### Point2

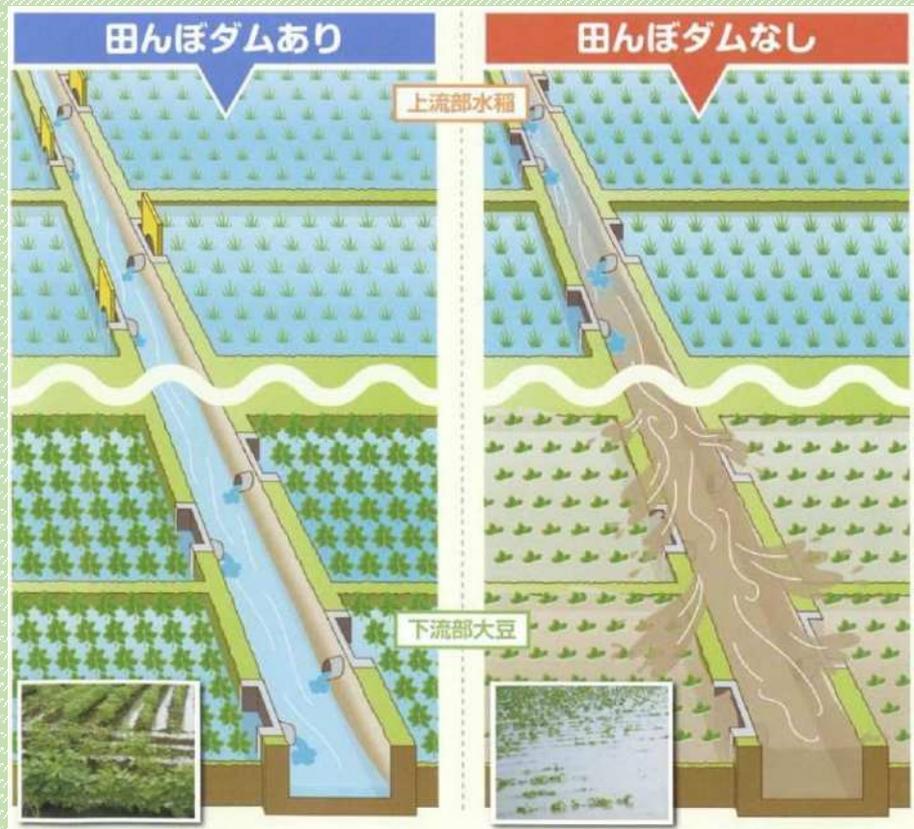
完全に排水を止めるのではなく、排水量を減らし一時的に田んぼに水を貯留します。

### Point3

「安価」で「直ぐ」に実施出来る治水手段です。

### Point4

上流部の水田からの排水を抑制することで、下流部にある大豆などの転作水田が浸水被害を受ける可能性を低減する効果があります。



田んぼダム実施

田んぼダム未実施



写真提供：新潟市

5cmの貯水により10haで5千t(25mプール約8個分)の水を貯留できます。令和4年度岡山市取組農地33haで16,5千t※(25mプール約27個分)の貯水効果が見込まれます。※現在より5cm高く貯水すると仮定



# 行政からの支援について

「**多面的機能支払交付金**」事業が活用できます。

資源向上活動

での

48

水田の貯留機能向上活動

55

防災・減災力の強化

で田んぼダムに取り組むことができます。

## 加算金の対象になる場合も

多面的機能支払交付金の交付を受ける田面積全体のうち5割以上で田んぼダムに取り組む場合は、田んぼダム加算の対象となります。

### 田んぼダム加算金

田んぼダム10aにつき+400円 ※

※農地・水保全管理支払の取組を含め5年間以上実施する地区は単価に0.75を乗じた額になります。

400円/10a	}	田んぼダム加算金	}	田んぼダムの加算単価
2400円/10a		資源向上支払交付金		}
3000円/10a		農地維持支払交付金		
} 事業計画期間5年				

## 田んぼダムに関するQ&A

### Q1.田んぼダムって何をするの？

「田んぼダム」は水田の排水口に穴の開いた調整板などを設置するだけなので、大規模な工事は必要ありません。破損、ゴミ詰まりがないか通常の水管理時に合わせて定期点検を行います。

### Q2.調整板はいつ設置するの？

代掻きや田植え時に一時的に外す場合もありますが、冬も含め通年で設置します。稲の生育に影響のない範囲で状況に応じて取り組みを行います。

### ○岡山市取組事例 内尾南みどりの会

(取組のきっかけ)

内尾南地区は二級河川である妹尾川流域の干拓地であり、大雨による浸水被害の軽減を図るために始めました。

(取り組んでみて感じたこと)

実施以後、大雨の発生がなく、具体的な効果を体感していません。維持・管理については、調整板にゴミが詰まっていないか適宜点検を行っています。農作物への影響は特に感じていません。



取組開始年 令和4年  
令和4年度取組実績 33ha

### お問い合わせ先

- 浸水対策の取組に関すること : 下水道河川計画課 河川防災室 ☎086-803-1434
- 多面的機能支払交付金に関すること : 農林水産課 ☎086-803-1343